

## 調査手法(簡素化)の検討対象項目

以下に提示した調査について、長期的・安定的に実施していくため、調査手法(簡素化)の検討を行い、その結果を科学委員会に報告する。各モニタリング項目のうち、現在調査が行われている項目から優先的に検討を実施する。なお、遺産管理以外の目的で行われている調査については、今後も実施機関からデータを入手していく。

モニタリング項目	調査内容
海洋環境の変動把握	衛星リモートセンシングによる水温・流水分布・クロロフィルaの観測
	海洋観測ブイによる水温・クロロフィルa・流向・流速の定点観測
アザラシ類個体群の動態把握	アザラシの生息状況の調査
特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握	海域の動植物相、及び、生息状況(浅海域定期調査)
海鳥類生息状況の把握	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査
	調査可能範囲のコロニーでケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの営巣調査。あわせて営巣数変動要因調査(営巣環境、餌資源、オオセグロカモメやヒゲマによる捕食との関連、観光船等人為的影響)
特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(林野庁1ha囲い区)
	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(環境省知床岬囲い区)
	密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査
	エゾシカの採食圧の把握に関する広域植生調査(知床半島全域に設定した混合ベルト調査区、及び、海岸植生調査地点など定点、登山道沿いにおける植生現況とエゾシカの採食圧に関する調査。植物のインベントリ調査を兼ねる。)
	シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査
エゾシカの生息状況の把握	エゾシカ越冬群の広域航空カウント
	間引き個体、自然死個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査
サケ科魚類生息状況の把握	サケ類の遡上産卵河川数と河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング
	サケ科魚類の遺伝的多様性の現状と変化に関する調査
特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオシヨロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)
特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況(外来種侵入状況調査含む)
	中小大型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)
	陸生鳥類生息状況調査